



GREEN×EXPO 2027応援企画

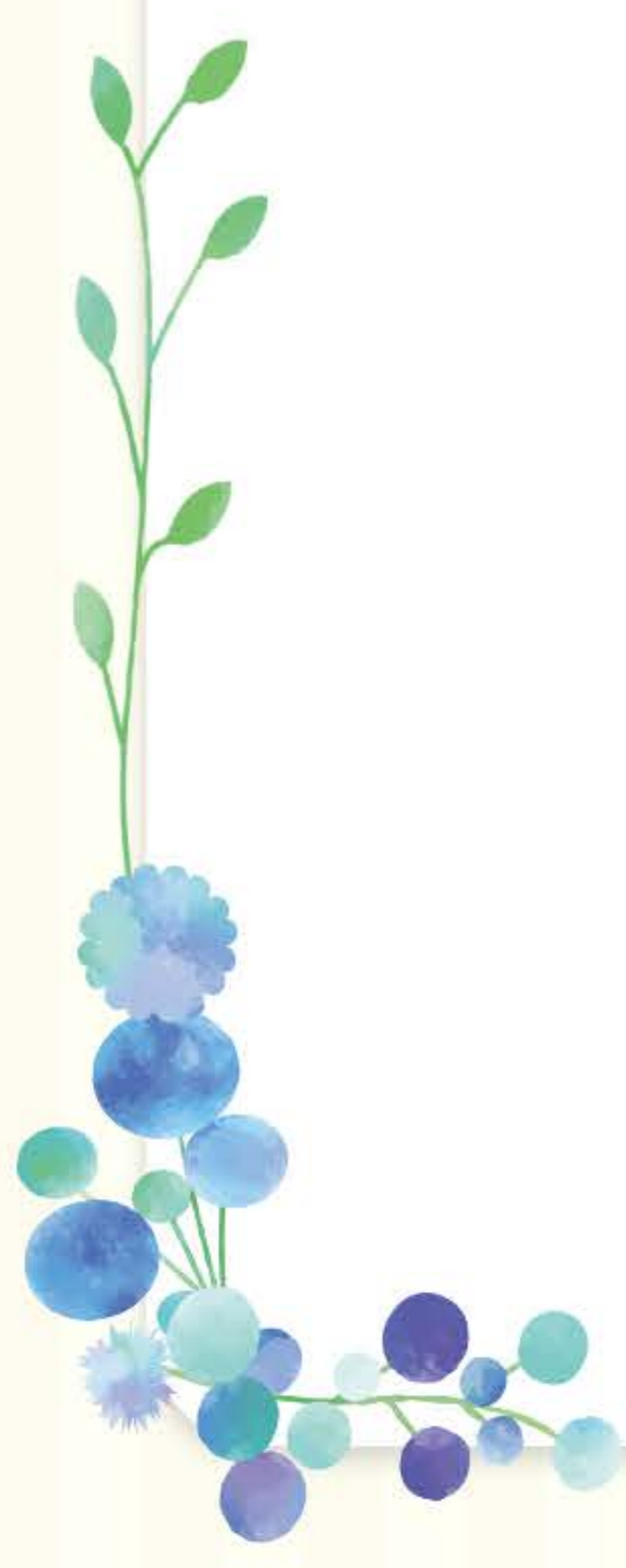


©Expo 2027

今日から使える  
**花知識**  
*Flower knowledge*

第5回

花贈りのマナー



私たちの暮らしに彩りを与えてくれる花。そんな花をもっと楽しむために、役立つ豆知識をお届けする連載企画。第5回は花贈りのマナーを紹介します。

# 花を贈る 3つのポイント

## POINT 1

### 【慶事】シーンに合わせた色選びを



お祝いの花は明るく華やかな色が基本。ただし、新築・開店祝いでは「火事」を連想させる赤一色の花は避けるのが無難です。一方、還暦（赤）や古希（紫）など、長寿祝いにはテーマカラーがあります。シーンに合わせて選びましょう。

## POINT 2

### 【弔事】時とともに色を添える



お悔やみの花は、四十九日までは白でまとめるのが基本です。四十九日を過ぎたら白にグリーンを加えたもの、一周忌を過ぎたら淡いピンクや紫など差し色を入れて選んでも良いとされています。時と共に色を添え、故人をしのびましょう。





## 配慮と確認を忘れずに



病院や葬儀場に花を贈る場合、花を受け入れているか確認も忘れずに。自宅に贈る際も在宅時間を確認しましょう。気持ちを伝えるメッセージカードを添えると丁寧です。お見舞いのお花は香りが強すぎず、花粉が少ない花を選んで。

ワンポイント

## 花知識

花言葉や本数が持つ意味も考えよう



花言葉も贈る楽しみの一つ。一般的に卒業や送別では「感謝」のカスミソウが好まれます。一方、黄色バラは「嫉妬」、アジサイは「移り気」などネガティブな意味を持つ花もあるので注意を。4本や9本は縁起が悪いとされ、避けるのが無難。お見舞いでは「根付く」鉢も避けましょう。

## プラスアルファの裏技



### スクールカラーで卒業を祝う裏技

卒業を祝う花は、学校のスクールカラーにあわせたラッピングも門出に喜ばれます。スクールカラーは校章、ユニフォームなどに使用されており、学生にとって思い出深い色です。同じ色のラッピングの花を贈ることで、思い出をかみしめることができます。

監修・撮影協力：株式会社日比谷花壇

## GREEN × EXPO 2027、 いよいよ開催1年前！

GREEN×EXPO 2027は、2026年3月19日にいよいよ開催1年前を迎えます。テーマ「幸せを創る明日の風景」の実現に向けて、会場整備や政府出展をはじめ、花と緑、農と食、文化、技術がつなぐ持続可能な未来を世界へ発信する準備が着々と進んでいます。1990年大阪花の万博以来、国内で37年ぶりの開催となる最上位（A1）クラスの国際園芸博覧会に、ぜひご期待ください！

©Expo 2027



SATOYAMA Villageイメージ ※2026年1月現在

画像提供：GREEN×EXPO協会